



第17回 子ども議会

7月22日、町役場議場で『子ども議会』が開催されました。町内の小学校から6年生21人が集まり、町政に対する質問を投げかけました。

子ども議会は、子どもたちに民主主義の基本である議会制度のしくみを体験してもらうこと、子どもたちの視点から見た様々な問題を、まちづくりに反映させることなどを目的に毎年行われています。

自分の順番が来るまで緊張していた子どもたちも、壇上^{だんじょう}に立つと、はっきりとした声で堂々と質問を行い、原稿を見ないで発表する場面も多く見られました。

ここでは、子ども議員からの質問と、その答えを要約してご紹介します。

議長インタビュー
第17回子ども議会において議長の大役を務めたのは、光山小学校の植村彩香さんです。議会終了後に感想を聞くと、「議長を勧められたときには、ほんとうにびっくりしました。最初はとても不安だったのですが、今は、無事に終わって安心していきます。とにかく、皆の中心になって、しっかりとした態度で、声を大きくしよう」と心がけて望みました。皆の質問を聞いてみると、とてもしっかりした意見が多く、私も見習いたいと思いました。もしもまたこのような機会があれば、やってみたいと思います。本当に議長という貴重な経験ができてよかったです。このような経験のできる子ども議会は、今後も続けてほしいと思います」と笑顔で答えてくれました。



03



防災行政無線子局

光山小学校 玉木 太介 議員

「きん急放送のありかたについて」

役場の放送が聞きとりにくいので、よく聞こえるようにしてほしいです。スピーカーの数を増やしたり、スーパーや病院で流すなど早く伝わるようにしてもらいたいです。緊急放送みたいな必要な情報が正確に伝わるように工夫をお願いします。

答 町では、防災行政無線が住民に正しく伝わるように年2回定期点検を実施し、スピーカーの位置や音量を調整しています。スピーカーの数を必要以上に増やすとかえって聞き取りづらくなる恐れがあるばかりか、騒音問題が生じてしまうこともあります。しかしながら、防災行政無線の果たす役割は大きいと思います。今後も放送機器の整備・点検を行い、住民の安全が確保できるように努めていきます。

01



交通量の多い信号機付近

毛呂山小学校 鶴岡 陸 議員

「通学路の整備」

ほくが毎日学校に通うために使っている通学路の交通量が増えたので、いつも渡る信号を押しボタン信号にしてもらいたいです。また、横断歩道の白線も消えかかっているの、通勤・通学者の安全のためにも描いてもらいたいです。

答 議員ご指摘の信号機を手押し式に変更しますと、自動車の交通渋滞が増大することが考えられます。ただし、新飯能寄居バイパスがまもなく開通する予定ですので、開通後の交通状況を判断して、警察にお願いしたいと思います。また、横断歩道の白線については、現地を確認したところ確かに消えかかっていたので、早急に横断歩道の引き直しを実施したいと思います。

04



伴六遺跡公園

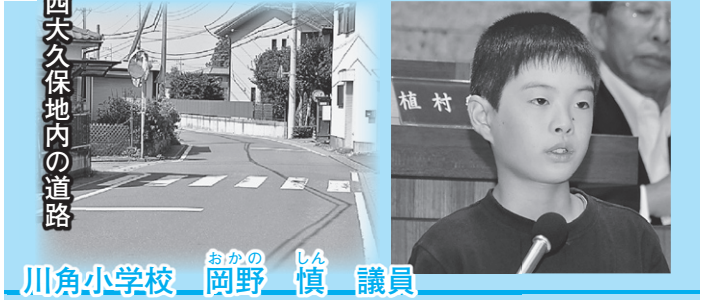
泉野小学校 江川 柚衣 議員

「公園にもっと遊具を」

私は、健康広場や伴六遺跡公園など町の公園にもっと遊具を設置してほしいです。小さな子どもたちでも、皆で楽しく、安全に使えるシーソーやブランコが設置されれば、公園にたくさんの笑顔があふれると思います。

答 公園は、幼児からお年寄りまでいろいろな人が利用していますので、皆さんが安心して楽しく過ごせることが大事です。ご提案のあったブランコなどの遊具については、現在、全ての公園に設置しているわけではございません。周辺的环境や面積も違うことから設置する遊具も異なってくると思います。今後は、多くの意見を聞きながら地域にあった遊具を考え、安心・安全な公園の整備をしていきたいと思ひます。

02



西大久保地内の道路

川角小学校 岡野 慎 議員

「西大久保にガードレールを」

ほくの住む西大久保の道路には、急カーブの道があったり、幅が狭い道があったりと、とても危険です。白線だけの歩道では、登下校のときにとっても怖いんです。皆の安全のためにもガードレールの設置をお願いします。

答 ご質問の道路は、年々交通量も増え、町内でも注意しなければならぬ道路になっています。しかしながら、道幅が狭いためガードレールを設置しますと車道も歩道も狭くなってしまいますので、設置は難しい状況です。そこで、道路の路面表示や看板の設置でドライバーに注意を呼びかけるとともに、歩行者の安全を図るため規制速度の遵守を徹底するように関係機関と協議したいと思ひます。



議会を傍聴する子どもたち

07



光山小学校 伊藤 優香 議員

「そなえあれば、うれいなし」

毛呂山町では、地震などの災害に対して、どのような対策がとられているのでしょうか。災害がおきた時には「避難場所の確保」、「食料の確保」、「水の確保」が大切です。町民の安全をより確実なものとしてください。

答

毛呂山町の災害対策ですが、「避難場所の確保」については、町内16か所の施設などを避難場所として指定しており、施設の耐震化も進めています。次に、「食料の確保」については、防災計画に基づきアルファ米の備蓄を行っています。そして、「水の確保」については、ペットボトルで水の備蓄をしています。これからも災害対策については、町民の皆さんの安心のため備えていくように努力します。

05



毛呂山小学校 中筋 琴音 議員

「エコ化により資源のむだをなくそう」

エコバッグを多くの人が使うようになる取組や、牛乳パックをリサイクルする入れ物をいろいろな所に置くなどエコ化の取組を町で行ってください。これらの取組は、自然環境がよくなることにもなるので、この活動をしてほしいと思います。

答

エコバッグを利用することは環境にやさしいエコへと繋がります。多くの人にエコバッグを利用いただけるよう普及・啓発活動を行ってまいります。また、牛乳パックについては、現在、町で回収箱を設置することは考えておりません。しかし、牛乳パックのような資源ごみは、正しく分別をして、地域の集積所へと出していただけるように、リサイクルガイドブックなどで周知を図りたいと思います。

08



泉野小学校 中村 友香 議員

「スポーツをするにあたって」

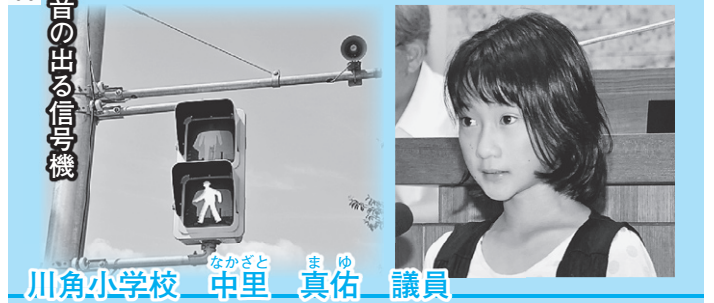
私は、総合公園体育館で柔道の練習をしています。練習場は柔道場と卓球場に分かれています。お互いが気を遣ってスポーツをしています。そこで、間にネットをつければ、お互いが気持ちよくスポーツに集中できる環境になると思います。

答

ご指摘の場所は、柔剣道場といって剣道にも使われる場所でもあります。ネットの設置は、利用しやすい体育施設を目指すうえでとても貴重なご意見ですが、他の種目の利用に影響することも考えられるため、なかなか困難です。

体育館は多くの人たちにご利用いただく場ですので、限られたスペースのなかで、お互い仲良く譲り合いながらご利用いただくことをお願いしています。

06



川角小学校 中里 真佑 議員

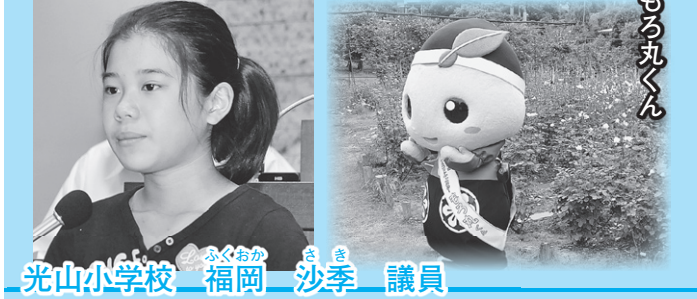
「目が不自由な方に」

私は、目が不自由な方たちが安心・安全に横断歩道を渡ることができるように、信号が青や赤に変わると音が鳴る機械を設置してほしいです。目の不自由な方たちにとっては、その音は、とても大切で、無いと不便なものだと思います。

答

現在、町内には6か所に音の出る信号機が設置されています。町から西入間警察署に対して出している信号機の設置要望のなかには、音の出る信号機も含まれています。町で信号機を設置することはできませんが、交通事故が増えているなか、子どもや高齢者、視覚障害者の交通安全対策の一つとして、音の出る信号機の設置は効果があると思いますので、今後も要望していきたいです。

11



もろ丸くん

光山小学校 福岡 沙季 議員

「もろまるダンスで町を元気に」

私は、以前からダンスを習っています。ダンスには人を笑顔にする力があり、とても楽しくなります。そこで、もろ丸くんにお年寄りや体が不自由な人でも踊れるようなダンスを踊ってもらえたら、みんな笑顔で町がとても元気になると思います。

答 もろ丸くんは、なかなか大きな動きはできませんが、音楽にあわせて、簡単に誰でも楽しく踊れるダンスがあれば、お年寄りや体の不自由な人だけでなく皆が楽しくなれると思います。今すぐに作るのは難しいと思いますが、今後、もろ丸ダンスや体操の音楽を皆さんに募集することになったときには、ぜひご応募ください。そして、毛呂山町が今まで以上に元気になるよう一緒に町づくりに参加してください。

09



毛呂山小学校の遊具

毛呂山小学校 高橋 颯太郎 議員

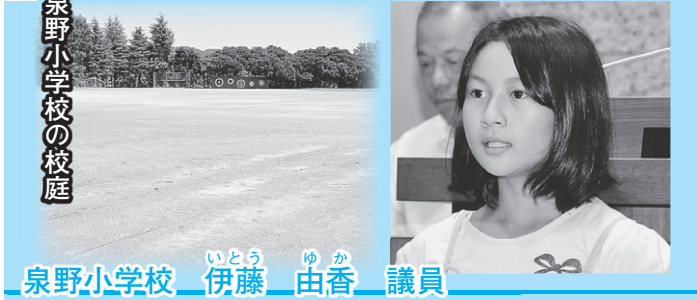
「学校の遊具について」

小学校の遊具を充実させてください。以前まではあった遊具が今はありません。特に1年生や2年生が安全で楽しく遊べるような、うんていや鉄棒、すべり台、ブランコなどいろいろな遊具を設置してください。

答 遊具は、多くの子どもたちが、楽しく遊ぶために学校にはなくてはならないものです。しかし全国各地で遊具による事故が起きていることもあり、学校の遊具が安全かどうかの点検を行いました。その結果、危険な遊具を撤去し、現在の安全な遊具を設置しました。

遊具で遊ぶことは、健康のためにも良いことです。今ある遊具を楽しく使えるように工夫することも大切だと思います。

12



泉野小学校の校庭

泉野小学校 伊藤 由香 議員

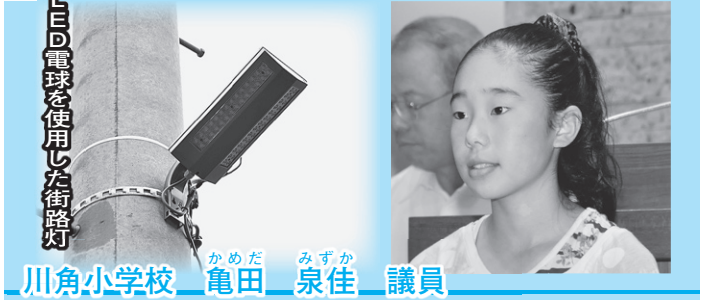
「泉野小学校の校庭を平らに」

泉野小学校の校庭を平らにしてほしいです。まず、私たちが体育をしづらいのが理由です。また、泉野小学校は、支部体育大会の会場になっているので、他の小学校から来る人たちがけがなどをせずに、良い思い出を作ってもらいたいからです。

答 小学校の校庭は、大勢の子どもたちが思い切り体を動かし、外遊びに熱中する場所です。外遊びは、健康な体をつくり、人間関係を築き、ルールを学ぶなど、子どもの成長に欠かすことができません。

泉野小学校の校庭に実際に立ってみると、確かに平でない場所があることがわかりました。今後は、校長先生とも相談させていただきながら、何らかの対応をしたいと思います。

10



LED電球を使用した街路灯

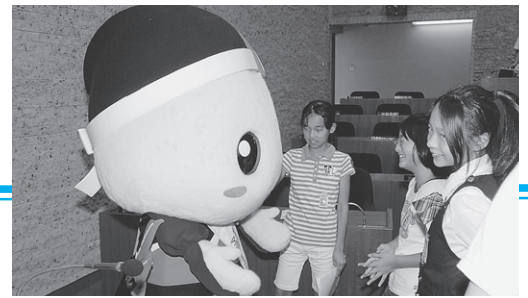
川角小学校 亀田 泉佳 議員

「明るい道作りから明るい町作りへ」

暗い道は不安になるので、街灯を増やして道を明るくしてほしいです。また、LEDのものや太陽電池式も取り入れて、節電にも取り組んでもらいたいです。そして明るい町になって、防犯のしっかりした毛呂山町になったらいいなと思います。

答 現在、町内には約3,560基と、近隣の市町より多い防犯灯および街路灯が設置されております。しかしながら、夜間の暗がりには多くの人々が不安を感じて、防犯灯を設置してほしいとの要望は、たくさんいただいています。

また、町では昨年度からLED電球を使用した防犯灯への取換え工事を行っています。今後も継続して、取換え工事を行い、明るい町づくりに取り組んでいきたいと思っています。



議会の日には、もろ丸くんも応援に

15



光山小学校 鶴田 清佳 議員

東武越生線の踏切

「歩道の見直しを」

私は、学園台団地から光山小学校に通学していますが、通学路の道幅が狭く、危険だと思ふ場所が多くあります。また、通学路は、車やバイク、自転車も多く通ります。これから先、下級生が安全に通学できるように道幅を広げてください。

答 ご指摘のとおり、議員の通学する道は、場所によっては道幅が狭く、歩行者の安全上心配なところがあります。特に東武越生線の踏切は、踏切内の幅が道より狭く、歩行者の安全のためにも踏切を広くする必要があります。この踏切については、東武鉄道と協議を進めていきます。

町では、今後も皆さんが安全に安心して通行できるように、道路の修繕やパトロールを実施していきたいと思ひます。

13



毛呂山小学校 小峰 有紗 議員

街灯の少ない山間部の道

「山間部に街灯を増やしてほしい」

私は、山間部に住んでいるのですが、帰り道には、ほとんど明かりのないところがあります。日が短くなると暗くなるのが早く、とても危ないので、せめて民家の無いところだけでも、もう少し街灯を増やしてほしいと思ひます。

答 防犯灯は、歩行者や自転車が通る比較的暗い道を優先して、概ね電柱2本に1本くらいの設置間隔を基準として設置しています。

山間部への防犯灯の設置ですが、ご指摘の道の設置間隔は概ね基準を満たしておりました。しかし、一部の場所で民家が無く、電柱も道路脇に無い場所もありましたので、地区の区長さんと相談して、防犯灯を設置したいと思ひます。

16



泉野小学校 関谷 優芽 議員

時計のある公園(目白台)

「毛呂山町に時計を」

登下校のときや放課後友達と遊ぶときなどに安心できるように、いつでも確認ができる場所、特に通学路に時計を設置してほしいです。更に、毛呂山町のあちこちに時計を設置すれば、大人も子どもも安心して外出できると思ひます。

答 時計の設置につきましては、公共施設への設置は可能かと思ひますが、通学路への設置となりますと実現は難しいと思ひます。

通学路には、交通指導員やボランティアの方がたもいますので、皆さんからも積極的に時間を聞いてみてください。また小学生にとっては、時間を感覚で覚えていくことも大切な学習と考へますので、そのような習慣づくりも大切にしてください。

14



川角小学校 上原 楓 議員

松貫橋

「みんなが安心して渡れるまつぬき橋に」

私は、登下校に松貫橋を渡っています。この橋は、横幅が狭く、歩行者が歩いているときに、車が通るとぶつかりそうになることがよくあります。この橋の横幅をもう少し広くしてくれれば、多くの人の助けになると思ひます。

答 現在、松貫橋は規制以上の大きな車が通行できないように、橋の入り口に車止めを設置し、安全対策を行っています。ご指摘のとおり橋の幅を広げることが一番だと思いますが、現状では実現が難しい状況です。しかしながら松貫橋は、多くの児童が通学しており、今後も増えることが予想されることから、更なる橋の規制強化や歩行者専用側道の整備などを検討していきたいと思ひます。

19



鎌北湖

光山小学校 山崎 竜也 議員

「大きなツアーを毛呂山町に」

毛呂山町には、鎌北湖や宿谷の滝など都会では見れない自然やきれいな川があります。また、桂木観音のような見晴らしのいい場所もあります。そこで、それらを埼玉県内外の皆に知ってもらうためのツアーができればいいと思います。

答 毛呂山町の西部には山地が広がり、豊かな自然が残されています。また、古くからの伝統行事である流鍋馬やぶさめを伝える神社があり、都会にはないすばらしい環境があります。去年は、旅行会社と連携して流鍋馬まつりを見学してもらうツアーを雑誌に掲載してもらいました。このようなツアーを大勢の人に知ってもらい、参加してもらって、毛呂山町で楽しい思い出を作ってもらえたらと思います。

17



掘込しほふ広場

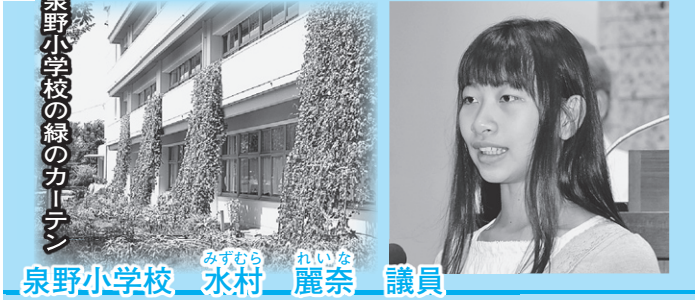
毛呂山小学校 白井 颯人 議員

「いろいろな公園づくり」

毛呂山町には、たくさんの公園がありますが、どこの公園も似ていて、遊んでいてもすぐに飽きてしまいます。それぞれの公園に他の公園にないような変わったものがあったら、外で遊ぶ子も増えるのではないかと思います。

答 現在町には、大小あわせて60か所以上の公園があります。公園は、皆さんが遊ぶ場所であるとともに、災害のときには避難場所にもなる大切な空間です。議員のようなたくさんのアイデアは大変よいことだと思います。すべての公園に特徴を持たせるのは、難しいことですが、町では、多くの意見を聞きながら、地域に密着した魅力的で安心・安全な公園を整備していきたいと考えています。

20



泉野小学校の緑のカーテン

泉野小学校 水村 麗奈 議員

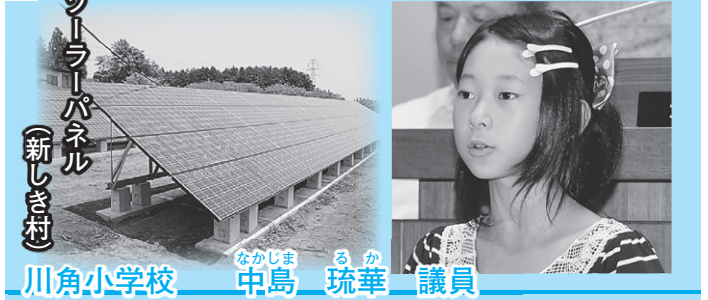
「地球温暖化対策に緑のカーテンを」

現在、二酸化炭素の増加により地球温暖化が進んでいます。また、東日本大震災の影響で電力が不足しています。これらの理由から、町全体で緑のカーテンを作れるように、町で町民の皆さんに植物の種や苗を配布してはどうでしょうか。

答 現在、地球温暖化は世界各国で深刻な問題となっています。各家庭での緑のカーテンの設置は、節電につながり、二酸化炭素も減らす素晴らしい提案だと思います。

しかしながら、町内全世帯にゴーヤなどの種や苗を配布すると膨大な費用がかかるため、現状では難しいと思います。町では、ゴーヤやヘチマ、朝顔などを各家庭で楽しく栽培ができるように広報紙などを活用して普及に努めたいと思います。

18



ソーラーパネル (新しき村)

川角小学校 中島 琉華 議員

「学校にソーラーパネルをつけてほしい」

私は、毛呂山町の学校全体にソーラーパネルをつけてほしいと思います。学校で使う分の電気を学校で作れば、電気代の節約になりますし、私たちの勉強にもなります。町の未来のため、環境のためにソーラーパネルをつけてほしいです。

答 ソーラーパネルを町内全校に付けるという発想はたいへん素晴らしいと思います。ソーラーパネルは、本質的には安価な発電設備といえますが、現在は、まだ太陽電池などの製造コストが高いため、普及が進んでいません。

すぐにできることではありませんが、今後は、環境を考慮した学校施設の整備推進という考え方のなかで、このようなソーラーパネル設置に取り組んでいけたらと思っています。